



メディア関係者各位

自傷行為や自殺について、若者がオンライン上で安全にコミュニケーションできるように支援するためのガイドライン 「保護者のための#chatsafe (チャットセーフ)」 ダイジェスト版等を作成・公開

厚生労働大臣指定法人・一般社団法人「いのち支える自殺対策推進センター」(東京都千代田区、代表理事・清水康之：略称「JSCP」)は、自傷行為や自殺について、若者がオンライン上で安全にコミュニケーションできるように支援するためのガイドラインの「ダイジェスト版」等を作成し、公開しました。

子どもたちは、スマートフォンやパソコンなどを使って、日常的に自傷行為や自殺に関する情報に触れる機会があります。SNSなどでは、こうした投稿についてユーザー同士の会話や情報交換が頻繁に行われ、もはやこのような情報を完全に遮断することはできません。

オーストラリアの非営利団体「Orygen」は、インターネット上のコミュニケーションが若者に与える影響について長年にわたり研究・支援しており、「保護者のための#chatsafe」を2023年に公開しました。JSCPは、オンライン、特にSNSを巡る状況は日本の若者にとっても重要な問題であることから、Orygenのガイドライン作成と日本語版公開に協力し、このたびガイドラインの要点を分かりやすく整理した「ダイジェスト版」と、エッセンスを凝縮した「リーフレット」を新たに公開致しました。

SNSなどでの自傷行為や自殺に関する会話では、正しい知識や安全なコミュニケーションの方法を知らないために、不用意に相手を傷つけたり、非難して追い詰めてしまったりする事態が起こりがちです。その結果、会話に参加する人だけでなく、情報を目にする他のユーザーの自傷・自殺のリスクまで高めてしまいかねません。一方で、こうしたコミュニケーションが安全に行われた場合、役立つ情報を見つけたり、自分の気持ちを表現したり、助けを求めることに繋がったりして救われることがあるのも事実です。身近で子どもたちと接する親や教育関係者、支援者などが正しい知識を持つことは、子どもたちの安全と健全な成長のために極めて重要です。本ガイドラインが必要とする方に届くよう、記事や放送等で、ぜひお取り上げください。

<ガイドラインについて>

【タイトル】「保護者のための#chatsafe 自傷行為や自殺について、若者がオンライン上で安全にコミュニケーションできるように支援する」

【対象者】保護者、教育関係者、支援者など

【公開】 本体 (英語版)：2023年5月

(日本語版)：2023年11月

ダイジェスト版とリーフレット：2024年7月(本リリースに添付)

【入手方法】 下記URL、または右記QRコードよりダウンロードできます

<https://jscp.or.jp/action/chatsafe4parents.html>

【作成】 作成：オーストラリアの非営利団体「Orygen」

協力：一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター (JSCP)

※日本語版は、英語版をベースとし、JSCPの協力で実施した日本の保護者や専門家へのヒアリングの結果を反映させて作成されました

【内容】 A4、38ページ

#chatsafe とは? / 保護者のための#chatsafe のご紹介 / 一般的なヒント / 自傷行為や自殺に関する安全なオンラインコミュニケーションとは? / ライブ配信、ゲーム、ネット心中、デマ、コミュニティ / あなた自身と若者を守る / 各種サポートサービス

